



# 北國 大学

観光×学びというニューノーマルな旅のカタチ。

私たちの考える観光まちづくりとは

観光の力を使って地域の課題を解決して、  
持続可能な地域を作ること

# 観光客視点

## 従来の観光

見るだけ

モノ消費  
コト消費

オーバー  
ツーリズム

## ニューノーマルな観光

地域を学ぶ

地域貢献

分散型

# 地域視点

## 従来観光

発地型

単発的

お金稼ぎ

## ニューノーマルな観光

着地型

持続的

地域振興

# 地域分析

## 〈ポテンシャル〉

- ①生活文化
- ②自然
- ③歴史的な町
- ④心
- ⑤温泉
- ⑥食



# 地域分析

〈問題点〉

- ①観光客に若者が少ない
- ②伝統工芸、一次産業後継者の人手不足
- ③消滅可能都市が多い
- ④観光において回遊性がない
- ⑤温泉地以外の知名度がない

## ①観光客に若者が少ない

北陸3県の観光客に占める30代未満の割合がいずれも10%代にとどまっていることがわかる

→若者(10、20代)の割合が少ない

	観光客に占める 50以上の割合	観光客に占める 30代未満の割合
富山県	47.6%	14.8%
石川県	38.7%	16.1%
福井県	51.0%	14.6%

## ②伝統工芸、一次産業後継者の人手不足

伝統工芸品の現状

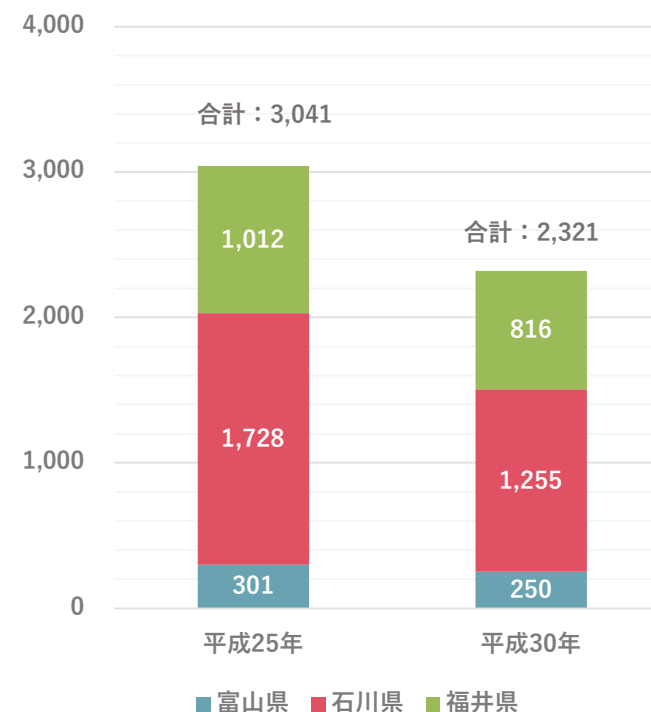
	昭和50年代	平成28年度
従事者数（人）	288,000	62,690
生産額（億円）	54,00	960

<https://kyokai.kougeihin.jp/current-situation/>を元に作成

地域全体の人口減少とともに、漁業などの一次産業の  
**従事者**が減少している

北陸において重要な産業である伝統工芸産業は、全国的に**後継者**が不足するという課題に直面している

(経営体) 漁業経営体数の推移



[https://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/data/01\\_08\\_28.html](https://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/data/01_08_28.html)  
を元に作成



### ③消滅可能都市

消滅可能都市とは  
2010年から2040年までの間に20～39歳の  
女性の人口が5割以下に減少すると推計され  
る自治体

北陸地方には3県合わせて**12市10町**の消滅  
可能都市があり、特に能登半島では**9割**の市  
町村がそれにあたる

消滅可能都市一覧

県	市町村名		
富山県	南砺市	石川県	加賀市
	氷見市		七尾市
	小矢部市		輪島市
	上市町		珠洲市
	朝日町		羽咋市
福井県	小浜市		志賀町
	大野市		志達志水町
	勝山市		穴水町
	あわら市		能都町
	池田町		
	高浜町		
	美浜町		
	おおい町		

富山県：<https://www.nomachi.info/blog/17672>

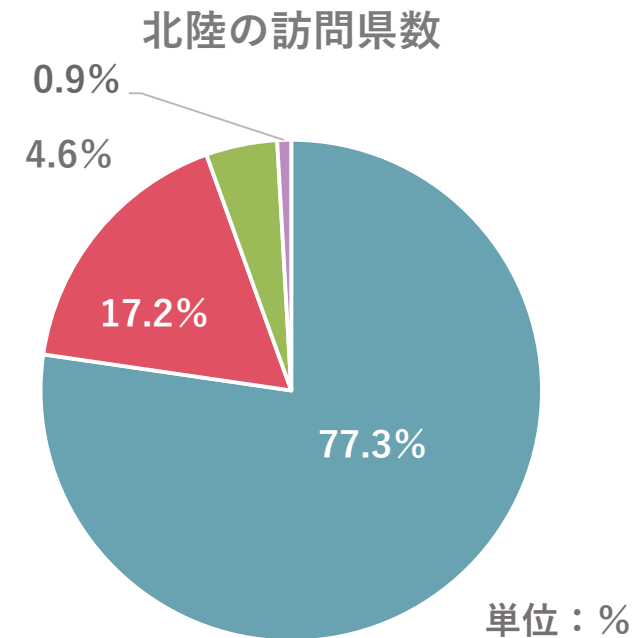
石川県：<https://muroyahiroyuki.web.fc2.com/images/houkoku/data/201410.pdf>

福井県：[https://www.city.fukui.lg.jp/sisei/plan/plan/p015779\\_d/fil/singi1-shiryoku4-2.pdf](https://www.city.fukui.lg.jp/sisei/plan/plan/p015779_d/fil/singi1-shiryoku4-2.pdf)

## ④観光において回遊性がない

石川県を観光した観光客の中で  
旅行で訪問した件数は  
「石川県のみ」が77.3%、  
「2県」が17.2%、  
「3県」が4.6%、  
「4県以上」が0.9%

→北陸全体を回遊しながら観光する人は少ない



■ 石川県のみ ■ 2県 ■ 3県 ■ 4県以上

<https://www.mlit.go.jp/common/000054139.pdf>を元に作成

## ⑤温泉地以外の知名度が低い

旅行先としては金沢市と温泉地が多く、観光行動は温泉が圧倒的に多く満足度は高い

目的地の宿泊数

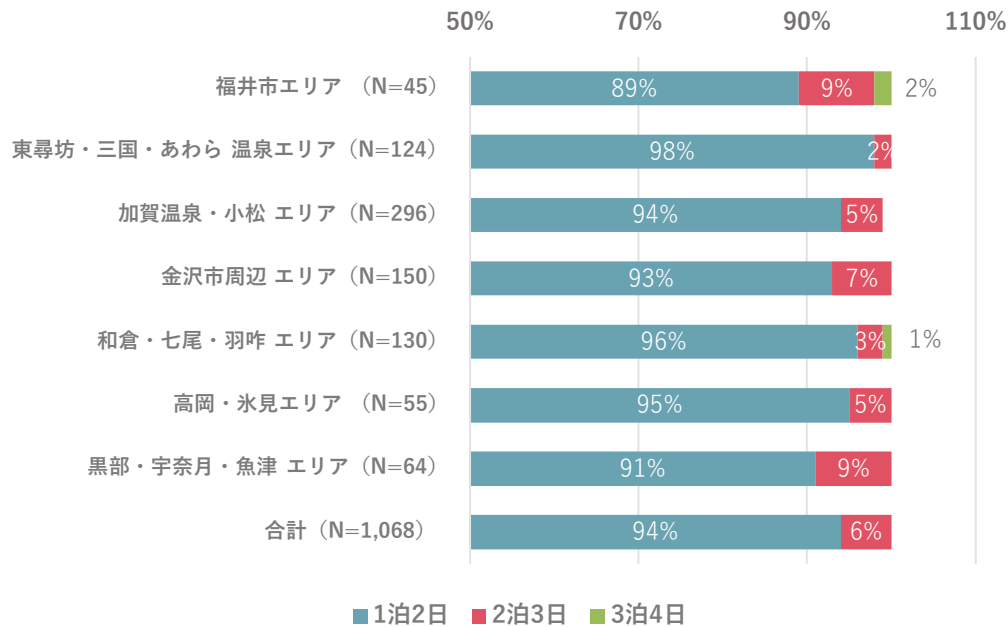


表 1-2 主な目的地の満足度・行動内容（上位3つ）

エリア名	満足度 満足+やや満足	行動内容						
		1位		2位		3位		
		内容	割合	内容	割合	内容	割合	
北陸圏全体	68%	温泉	64%	名所・旧跡 を見る	24%	風景鑑賞 特産品の 買物・飲食	22%	22%
黒部・宇奈月・魚津 エリア (N=64)	86%	温泉	63%	風景鑑賞	42%	名所・旧跡 を見る	33%	
高岡・氷見 エリア (N=55)	75%	温泉	71%	特産品の 買物・飲食	25%	風景鑑賞	18%	
和倉・七尾・羽咋 エリア (N=132)	72%	温泉	71%	特産品の 買物・飲食	25%	風景鑑賞	19%	
金沢市周辺 エリア (157)	69%	温泉	42%	名所・旧跡 を見る	29%	まち並み 散策	24%	
加賀温泉・小松 エリア (N=298)	68%	温泉	79%	名所・旧跡 を見る	20%	風景鑑賞	19%	
東尋坊・三国・あら温 泉エリア (N=124)	65%	温泉	80%	名所・旧跡 を見る	19%	特産品の 買物・飲食	16%	
福井市エリア (N=46)	49%	温泉	50%	特産品の 買物・飲食	20%	商談・会議	20%	

# ターゲット

地域分析からわかったこと

- ①観光客に若者が少ない
- ②伝統工芸、一次産業後継者の人手不足

→北陸は**若者**を必要としている

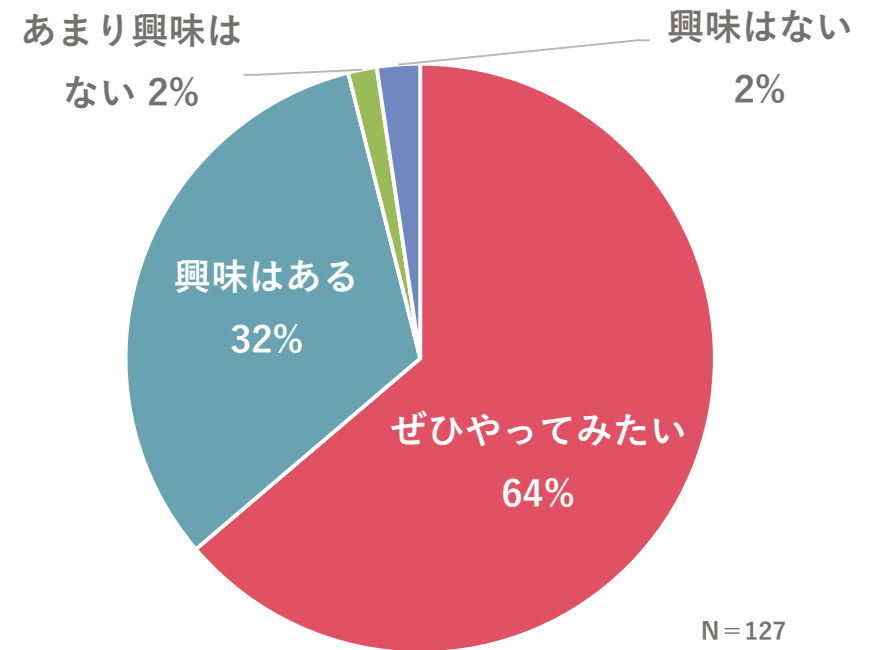
# ターゲット

①大学生にアンケートを取ったところ、96%の大学生が地域貢献を含んだ旅行への興味を持っていた

②大学生はオンライン授業によって学習の実践の機会を喪失している

→自分の能力を**現場**で生かして、**地域貢献**できる場を提供すれば、**大学生**に需要があるのではないか

Q地域貢献できる旅に興味があるか



ターゲット

「大学生」

コンセプト

「観光 × 学び」

提案

ほっこく

「北國大学」

～北國（北陸）をフィールドにした観光と学びを～



北國大学とは

キャンパスは**北陸全体**

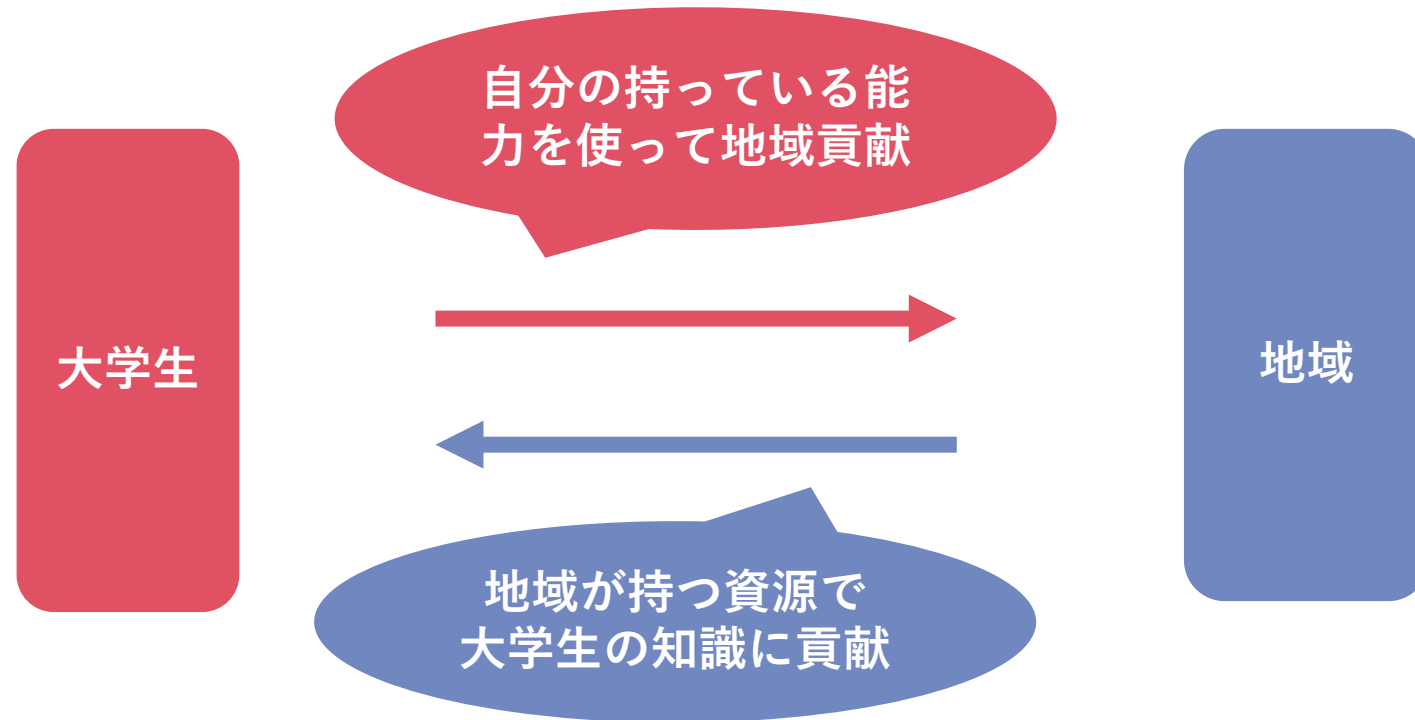
講師は**地域住民**

全国の**大学生**たちが

**北陸**について学ぶ“大学”

# 北國大学概要

学校の理念：大学生と地域が相互関係的に貢献しあう





# 北國大学概要

- ・ 学年が上がるごとに「狭く深く」

- ・ 2コース制

北國コース：既存の学部には該当しない北陸独自の魅力を学ぶ

実践コース：大学生の専門分野を北陸で実践する

- ・ 少人数制

各学部定員20人

グループ別学習

- ・ 移動手段はバス

# 北國コース

## 山岳信仰学部

白山信仰から北陸の生活文化を学ぶ

## 伝統工芸学部

四年間を通して自分だけの「北國お膳セット」を作って伝統工芸を学ぶ

## 漁業学部

豊富な海産資源について漁師の視点から学ぶ

## ウィンタースポーツ学部

雪を使ったアクティビティで北陸の生活を学ぶ

## 自然学部

山川海すべてのフィールドで生態や環境について学ぶ

## 温泉学部

温泉の効能や歴史などを学ぶ

## お祭り学部

お祭りの担い手となり北陸の文化を学ぶ

## 食学部

北陸の豊かな食を学ぶ

## 気象学部

北陸の特徴的な気象を学ぶ

# 実践コース

## 文学部

泉鏡花など北陸の文学作家、  
文学作品の舞台を現地で学ぶ

## 農学部

北陸の農業が持続可能になるよう、  
生産から販売の各過程について研究する

## 芸術学部

北陸の美術について  
実際に作品を作りながら知識を深める

## 服飾学部

服飾について専門的に学び、  
寒く多湿なより優れた服飾を追究する

## 歴史学部

北陸を対象に歴史的出来事について  
残された物や建造物、文書などから学ぶ

## 人文学部

北陸の地域性を「人」を介して学ぶ

## 建築学部

建築物や都市を対象に  
その背景までを学ぶ

北國大学のカリキュラムを通して学んでほしいこと  
＝北陸の様々な魅力



北陸のポテンシャルより

- ①生活文化
- ②自然
- ③歴史的な町
- ④心
- ⑤温泉
- ⑥食

北陸の問題点より

- ⑤温泉地以外の知名度が低い
- 温泉以外の北陸の魅力を  
知ってほしい

## 食学部

- ①生活文化
- ②自然
- ⑥食

## 伝統工芸 学部

- ①生活文化
- ②自然

## 建築学部

- ①生活文化
- ③歴史的な町
- ④心

温泉地以外の北陸の魅力の提案



北國大学創設のファーストステップとしては  
「食」「伝統工芸」「建築」の3つが最適



# プログラム 紹介

---



# 食学部

---

北陸の豊かな食を学ぶ

# カリキュラム

学年	学ぶこと	対象地域	食材・料理
1年生	一次産業 食材と生産者	石川県中能登町 富山県滑川市	古代米 ホタルイカ
2年生	二次産業 加工食品	石川県七尾市 福井県池田町	発酵食品 豆乳スープ
3年生	三次産業 レストラン・旅館	富山県富山市 福井県福井市	新富山料理 山菜料理
4年生	家庭 郷土料理	石川県金沢市 福井県大野市	治部煮 報恩講料理

# 1年生プラン：中能登町・滑川市



## 1日目

11:00  
中能登町  
谷農園集合

谷農園  
日本最古の「おにぎりの化石」が出土した地域性から、**古代米**を作り始めた🍱

13:00  
田植え体験

## 2日目



11:00  
北陸ブランド米  
食べ比べ

13:00  
中能登町→滑川市

14:00  
漁師から  
特別講義

19:00  
就寝

魚のさばき方、魚のおいしい食べ方などを教わって、**海産物への興味関心**を高めよう

# 1年生プラン：中能登町・滑川市

## 3日目

2:00  
ホタルイカ漁  
体験

漁師さんを“講師”として、魚の品質と価値を見極める目を養う

5:00  
競り体験



8:00  
朝食  
獲れたてホタルイカ

10:00  
仮眠

漁に携わる直接的な業務以外を理解するのが目的！

12:00  
網の修理や仕掛け  
の手伝い

3日間の学びを他学生と共有することで学びが深まる

14:00  
感想共有

16:00  
解散

# 地域貢献

- ・ 北陸の気候や自然環境を反映した特色ある食文化への関心を高める
- ・ 「食」に関する様々な人手不足解消（農・漁業作業の手伝いなど）
- ・ 食の伝統継承などの問題解決の一助とする

# 伝統工芸学部

---

北陸の豊かな伝統工芸を学ぶ

# カリキュラム

4年間をかけてお膳セットを揃えること  
で北陸の伝統工芸の豊かさを理解

学年	お膳セット	対象地域	工芸品
1年生	皿 湯呑	富山県中新川郡立山町 福井県越前市	越中瀬戸焼 越前焼
2年生	皿 茶碗	石川県加賀市 福井県鯖江市	九谷焼 越前漆器
3年生	お箸 箸置き お碗	福井県小浜市 石川県内灘町 富山県下新川郡入善町	若狭塗 水引 越中舟見焼
4年生	おぼん コースター	富山県魚津市 石川県珠洲市	魚津漆器 珪藻土



# 2年生プラン：加賀市・鯖江市



## 1日目

11:30  
小松駅到着

13:00  
九谷セラミックラボラトリーを見学

九谷焼の複合型文化施設で、**歴史**や製造工程を学ぶ

15:00  
グループ別で工房へ  
職人と交流

18:00  
九谷焼や山中漆器を使った料理を  
提供する旅館に宿泊

## 2日目

10:00  
歴史学習@いろは草庵

12:00  
昼食@べんがらや

14:00  
絵付け体験@工房

19:00  
宿泊@片山津温泉旅館

21:00  
感想共有

芸術家魯山人の寓居を  
当時そのままに公開



# 2年生プラン：加賀市・鯖江市

3日目

9:00  
加賀市→鯖江市

10:00  
漆塗り自転車でサイクリング

12:00  
昼食@うるしの里「わんわん」

14:00  
うるしの里会館職人工房

19:00  
民泊

21:00  
感想共有

拭き漆体験をする  
越前で漆器が有名に  
なったのは漆塗りの技  
術が根付いていたから  
だという歴史も学ぶ

4日目

10:00  
山口工芸Hacoa

12:00  
昼食越前そば @てつや

13:00  
TSUGI

16:00  
鯖江市→金沢市

17:30  
金沢駅解散

若い職人さんが若い感  
性で伝統工芸をとらえ  
て、作っている企業

「地域特化型デザイン  
スタジオ」と題して伝  
統産業の新しい活用の  
仕方を考えている会社



# 地域貢献

- ・ 伝統工芸産業の後継者の発掘、育成
- ・ 伝統工芸品単体ではなく、お膳セットをつくることによって北陸の伝統産業間の広域連携につながる
- ・ 伝統工芸品の新たな需要の促進
- ・ 大学生に興味をもってもらうことで産業の活性化

# 建築学部

---

建築物や都市を対象にその背景までを学ぶ

# カリキュラム

学年	学ぶこと	対象地域	資源ランク
1年生	世界遺産 重要伝統的建造物群保存地区	富山県南砺市五箇山 石川県金沢市ひがし茶屋街	A
2年生	重要伝統的建造物群保存地区	福井県若狭町熊川宿 石川県輪島市	B
3年生	街なみ環境整備地区	富山県高岡市伏木 福井県大野市	該当なし
4年生	地域貢献	自由	自由

# 3年生プラン 高岡市伏木・大野市



## 1日目

11:30  
新高岡駅集合

12:30  
昼食終了  
高岡駅→伏木

13:00  
伏木到着  
ガイドライン観ながらまちあるき

17:00  
集まって学んだことを共有

## 2日目

10:00  
ガイドの準備

13:00  
ガイドになって  
地域住民とまちあるき

16:00  
高岡市→大野市

19:00  
宿泊

グループに分かれてガイドラインに書いてあることを確認する



外部からきて気付いたことや学んだことを伝えることで、地域の方が地元を見つめなおすきっかけにもなる！



# 3年生プラン 高岡市伏木・大野市

3日目

まちなみ環境整備地区である大野市中心街を、グループに分かれて歩き、景観保全の工夫や良い点を探す！

11:00  
大野市中心街  
まちあるき

15:00  
発表

16:00  
宿泊

4日目

10:00  
大野市中心街  
まちあるき  
(答え合わせ)

12:00  
昼食

13:00  
DIY

16:00  
解散

前日に見つけた街中の工夫とそれ以外の規制などを地元の“講師”の方と歩いて確認する

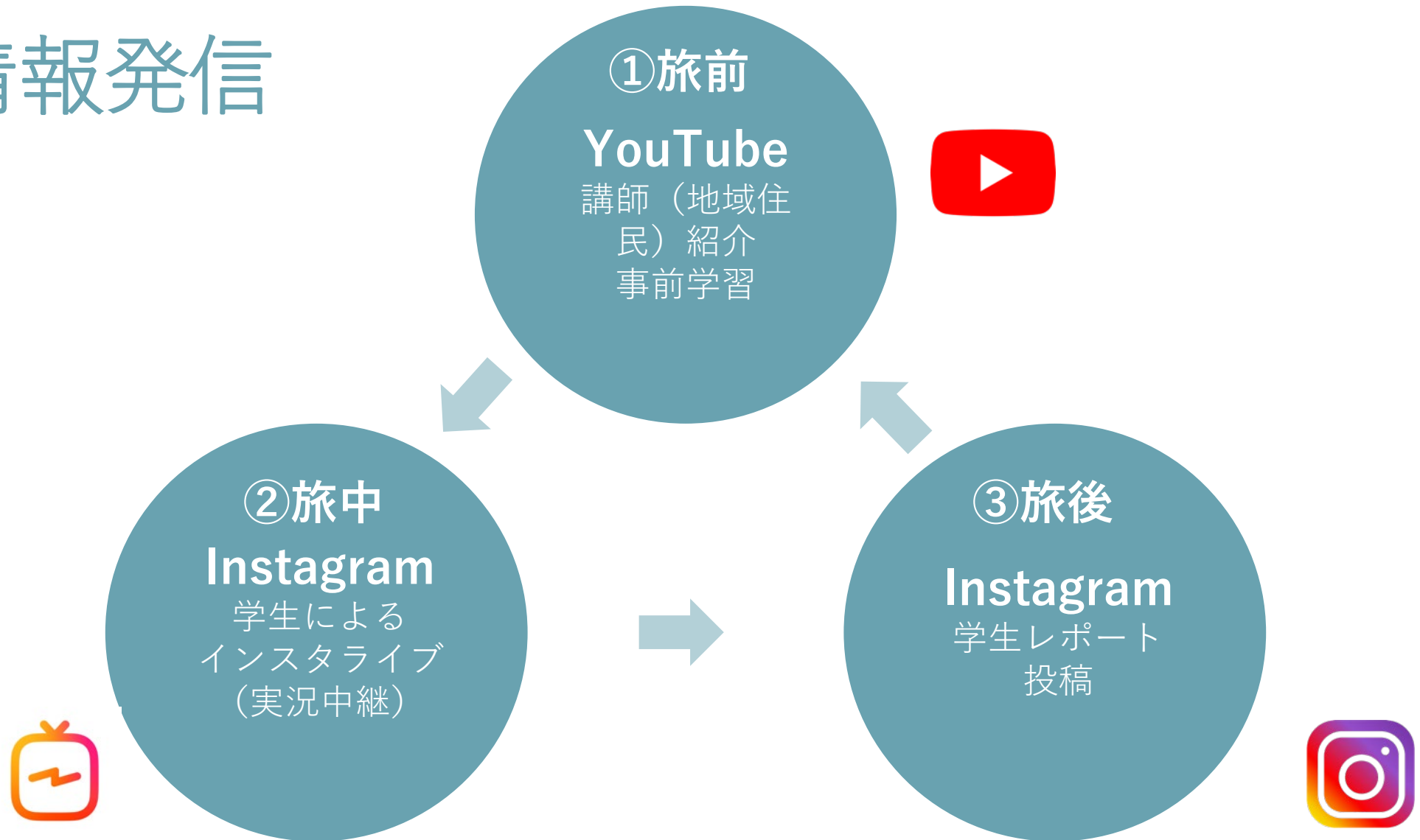
大野市の住民が問題意識を抱えている「空き家」について、DIY活動に参加して地域貢献

# 地域貢献

- ・ 町並みを守ろうとする意識の生成・定着
- ・ 大学生視点でまちづくりの新たなアイデアの提案
- ・ 行政と住民をつなぐ役割を担う
- ・ 地域を詳しく知ることで愛着が湧く



# 情報発信



# 実現に向けて

北陸での観光の需要が最も高い地域は近畿圏・中部圏である

→まずは**近畿・中部地方**の学生を対象にプランを開始して、段階的に日本全国へ広げていく

表 1-7 観光で最も行きたい圏域・上位3位 1泊2日程度の観光(居住圏域別)  
(%)

訪問先 居住圏域	自 圏 域	他圏域 上位3位		
		1位	2位	3位
北海道	44.6	首都圏 22.7	東北圏 12.7	近畿圏 5.4
東北圏	37.1	首都圏 31.5	北海道 10.5	北陸圏 8.6
首都圏	28.2	近畿圏 17.4	東北圏 14.5	北陸圏 13.2
北陸圏	11.6	近畿圏 31.4	首都圏 22.9	中部圏 16.7
中部圏	18.1	北陸圏・近畿圏 23.8		首都圏 17.9
近畿圏	20.2	北陸圏 21.5	首都圏 12.6	中部圏 12.0
中国圏	7.8	近畿圏 26.2	九州圏 20.5	四国圏 14.8
四国圏	7.4	近畿圏 33.6	九州圏 16.0	首都圏 13.2
九州圏	42.0	首都圏 15.0	沖縄県 10.2	近畿圏 9.2
沖縄県	11.8	九州圏 28.7	首都圏 21.5	近畿圏 11.6

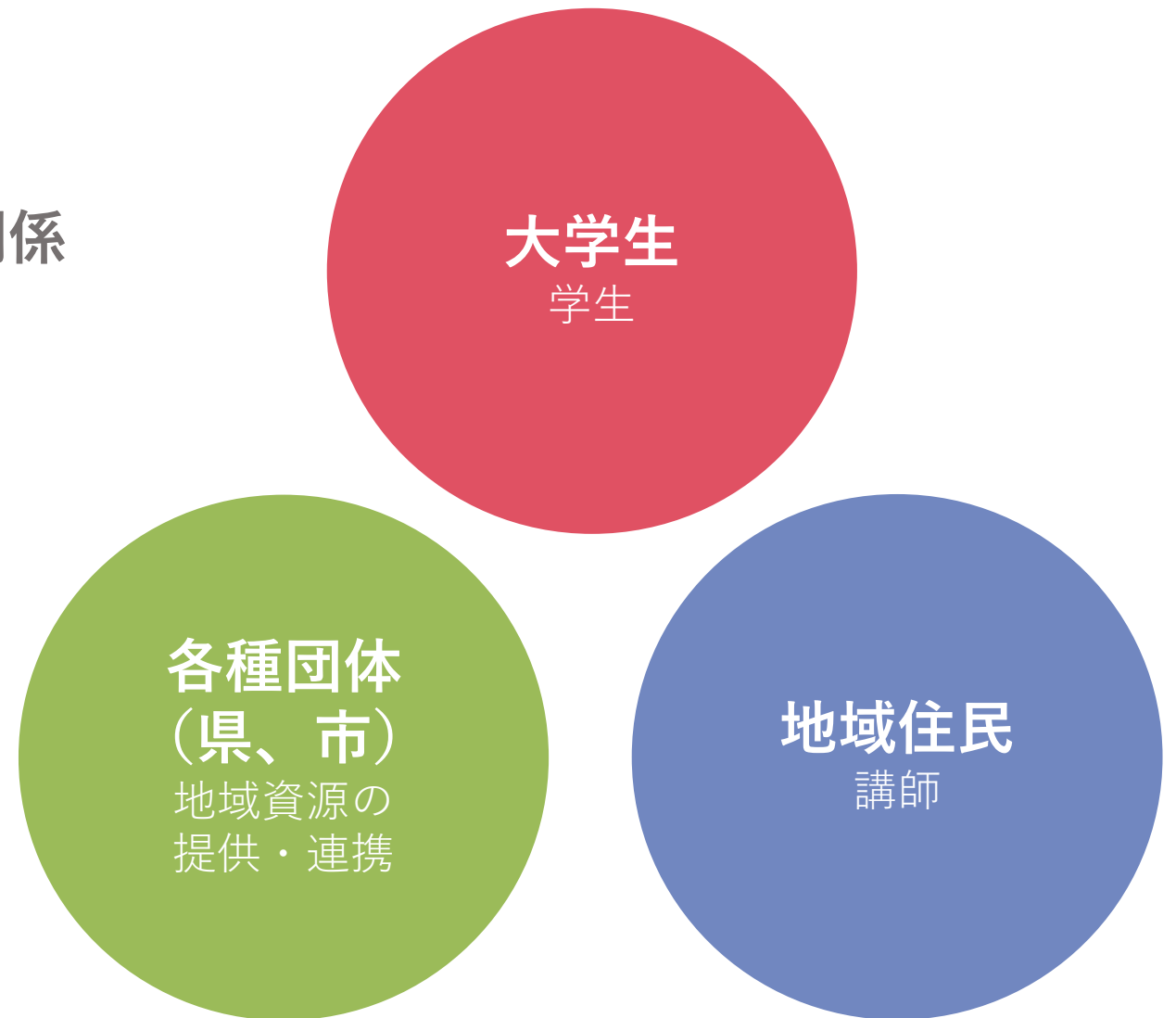
# 実現に向けて

## 北國大学発展のプロセス

	創立年数	開講学部	対象大学生の居住地
STEP1	1~4	3 (食学部、伝統工芸学部、建築学部)	中部地方 近畿地方
STEP2	5~8	9 (3学部 + 山岳信仰学部、ウィンタースポーツ学部、 漁業学部、農学部、文学部、歴史学部)	本州
STEP3	9~	16 (9学部 + 自然学部、温泉学部、お祭り学部、 気象学部、人文学部、芸術学部、服飾学部)	日本全国

# 実現に向けて

北國大学を構成する3つの主体の関係



大学生  
学生

各種団体  
(県、市)  
地域資源の  
提供・連携

地域住民  
講師

# 実現に向けて

## OBOGとの繋がり

- ・ **学園祭**などの卒業後も北國大学とかかわりを持つ機会を作る
- ・ 北陸に移住したOBOGが現地の“**講師**”として関わり続ける
- ・ 移住したOBOGによる大学生の**キャリア相談**

→4年間分関わるプランだからこそ、北國大学に愛着を持って卒業後も北陸とつながり続けられるようにする

# 経済効果

## 1人当たりの年間学費設定の内訳

### 食学部

内容	学費 (円)
入学金	5,000
食費	14,000
交通費	10,000
宿泊代	14,000
人件費	4,500
<b>合計</b>	<b>47,500</b>

### 伝統工芸学部

内容	学費 (円)
入学金	5,000
食費	10,000
交通費	15,000
宿泊代	21,000
人件費	5,400
材料費	2,000
<b>合計</b>	<b>58,400</b>

### 建築学部

内容	学費 (円)
入学金	5,000
食費	10,000
交通費	15,000
宿泊代	21,000
人件費	900
見学費	3,000
<b>合計</b>	<b>55,000</b>

# 経済効果

食学部  $47,500(1人当たりの年間学費) \times 20(人数) = 950,000(円)$   
伝統工芸学部  $58,400(1人当たりの年間学費) \times 20(人数) = 1,168,000(円)$   
建築学部  $55,000(1人当たりの年間学費) \times 20(人数) = 1,100,000(円)$

$950,000(円) + 1,168,000(円) + 1,100,000(円) = 3,218,000(円)$

$3,218,000(円) \div 3(学部) = 1,072,667(円)$

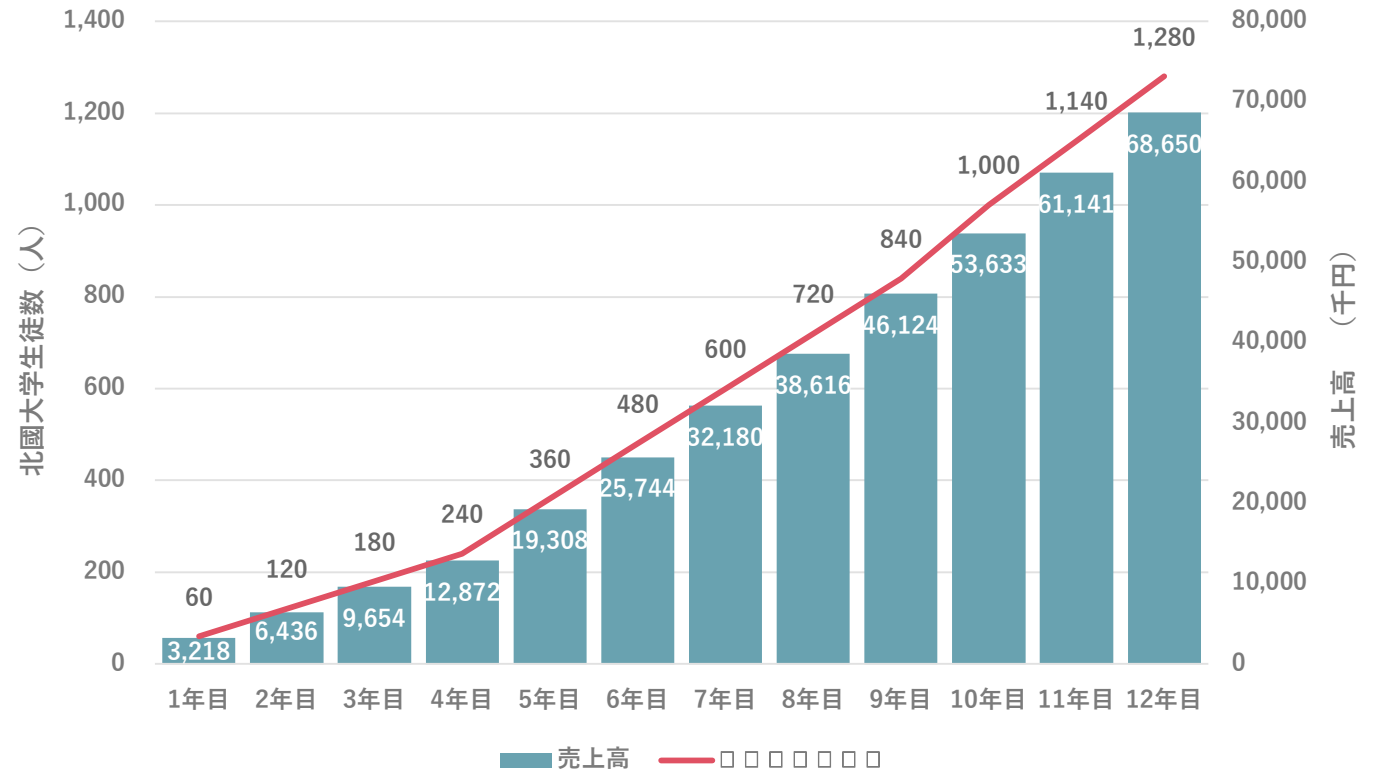
3学部の平均年間学費を16学部の平均年間学費とする

\* 小数点以下は四捨五入

# 経済効果

本プログラムを通じて北陸に関わる人数、売り上げが12年で約20倍に

## 本プログラムの売上高と観光客数の予測





# 社会的効果

## 地域

- ・ 地域住民が大学生と交流することで地域に活力が生まれる
- ・ 大学生に教える立場になることで地域理解が深まる
- ・ 後継者不足の解消の一助となる

## 大学生

- ・ 観光資源を守る意識が生まれる
- ・ 様々な地域のさまざまな立場の人と交流することで視野が広がる
- ・ 北陸に愛着が湧き移住の可能性が生まれる

# 提案に対するコメント



栄養学部生

大学の実習では学べないような内容で面白そう  
とって作って食べれば、地域や食材について詳しく学べそう！

本物を体験することはその器をうんだ地域の文化を理解する上で必要なことだと思います。加賀市は消滅可能性都市であり、このプランを通じて伝統産業を切り口とした産業振興とまちの連携、活性化が図られると思います。



元加賀市役所職員



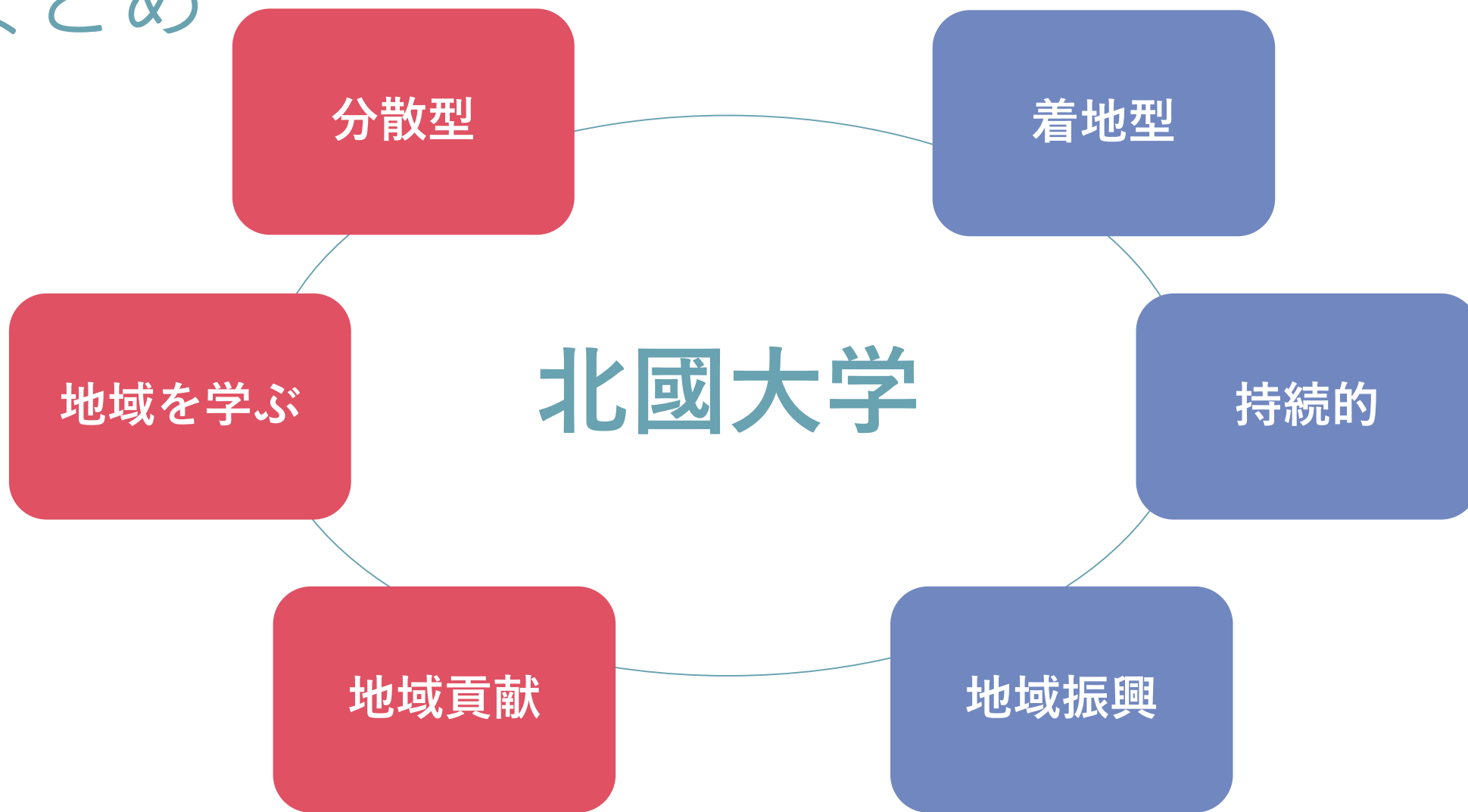
都市計画を専門に学ぶ学生

地域を広く浅くではなく、狭く深く見るというプラン内容が良いと感じます。まち歩きの仕方が工夫されていて、しっかりと地域を理解できると感じました。

# 新規性

- ・ **北陸全体**が対象地域
- ・ **地域住民**が講師
- ・ 大学生の興味関心に合わせて**コース選択可能**  
北國コース：**北陸独自の魅力**に特化した教育観光  
実践コース：**自分の専門分野**に特化した教育観光
- ・ 大学生の**知識、能力を生かす**機会の創出
- ・ 地域の観光価値の**多層的**な学び（メタ観光）
- ・ 他学生との**感想共有**による学びの深まり

まとめ



まとめ

分散型

着地型

北國大学にはニューノーマルな観光の要素  
がすべて含まれている！！

地域貢献

地域振興

# まとめ

